

～下田のデキゴト～



**8/8 上智大学との連携に関する協定締結式**  
グローバルCITYプロジェクトの目的と国際性豊かな上智大学が目指す使命が合致していることから、両社の共通項であるSDGsの実現に寄与することによって双方の発展につなげていくため、連携協定を締結しました。



**8/18 優勝報告、栄えある筋肉**  
大分県で開催された日本クラシックボディビル選手権で市内在住の白井寛人選手が優勝し、市長への報告会を行いました。日々のトレーニングや競技への取り組みについて報告した後、鍛え上げられた肉体を披露しました。



**8/18 寄付金贈呈式：堤榮助様**  
西伊豆町役場にて、株式会社サエツ冷機工業相談役の堤榮助様から、地域の活性化、貢献のために有効活用してほしいと、下田市、西伊豆町、松崎町、河津町へ、各100万円の寄付金が贈呈されました。



**8/19 親子漁船釣り教室**  
青少年健全育成事業として、須崎漁港にて親子漁船釣り教室を開催しました。一旦は台風の影響で延期されたものの、当日は天候に恵まれ、8組20名の家族がアジやイワシ等の魚を釣り上げ、漁船釣りを楽しみました。



**8/21 アスクラロ沼津と協定締結**  
サッカーJ3リーグ所属のアスクラロ沼津とパートナーシップ協定を締結しました。今後は協定に基づき、子どもたち向けのサッカー教室や、市のPR活動への協力等、スポーツを通じた地域振興を推進していきます。



**8/21 4年ぶりの国際交流**  
1999年から下田ライフセービングクラブと姉妹提携を結んでいるオーストラリア、クイーンズランド州のマルチドー・サーフ・ライフ・セービング・クラブから、4年ぶりに、技術指導及び国際交流を目的に2名のライフセーバーを招聘しました。

8月の  
できごと

- 8日 上智大学との連携に関する協定締結式
- 9日 青色防犯パトロール実施者講習会
- 14～15日 下田八幡神社例大祭
- 19日 親子漁船釣り教室
- 21日 アスクラロ沼津との協定締結式
- 23日 寿大学

地域子育て支援センター通信

問合せ先 地域子育て支援センター ☎02200



10月の予定

- 2日(月) 「遊・VIVA」さんと遊ぼう!
- 4日(水) めだかルーム 9時～11時30分
- 6日(金) 敷根公園で遊ぼう
- 7日(土) 開館日
- 11日(水) あひるルーム(敷根公園) 9時～11時30分
- 13日(金) おでかけ広場(海遊公園) 9時30分～11時  
\*午後閉館(清掃・消毒)
- 16日(月) ヨガ&リトミック(工藤千明先生)
- 18日(水) うさぎルーム(敷根公園) 9時～11時30分
- 21日(土) 開館日
- 23日(月) 発育測定・育児相談 9時～11時  
保健師講話(保健師・栄養士来所)
- 25日(水) “子育て応援にこここサークル”読み聞かせ
- 26日(木) 誕生会
- 27日(金) わくわくタイム \*午後閉館(清掃・消毒)
- 30日(月) ハロウィン製作
- 31日(火)

\*予定は変更になる場合があります。  
詳細は子育て支援センターまでお問い合わせください。



図書館出前講座 プール遊び

日中の暑さは続いていますが、朝夕の風が心地よく感じられるようになってきましたね。今年の子育て支援センターの夏は、お家の人と一緒にたらいやビニールプールの水遊びを毎日楽しみました。9月から「年齢別ルーム」が始まります。年齢にあった玩具、環境を用意しています。同年齢の子と一緒に遊びながら親子で交流を深めていきましょう。第1・2・3水曜日の午前は、年齢指定の日になります。遊びにきてくださいね!



誕生会 親子で知育ヨガ

こんにちは、市長です

地球に優しい「涼」のスズメ



今年の9月1日は、関東大震災からちょうど100年目です。そこで今回は防災と暮らしについて書いてみます。近年、線状降水帯等により、河川の氾濫や土砂崩れ等の大規模災害が頻繁に起きています。ハワイのマウイ島で先月山火事に端を発した大火災がまちを焼き尽くしたことも記憶に新しいところです。私たちはこのように多種多様な自然のリスクの上に暮らしていると言えらると思います。さて、今年の夏も35度以上の猛暑日がたくさんありました。中には40度に届きそうな所もあって、外出の際は気をつけて、水分補給をしましょう、クーラーを適切に使いましょ、といった言葉が連日TVから聞こえてきました。しかし、クーラーをつける部屋の中は涼しくなりますが、その分、屋外の気温を上げさせます。また、その電気を消費するためにどこかでエネルギーを消費しています。昭和30年代、豊かな暮らしの象

徴として、カラーテレビ、クーラー、自動車(カー)が3Cと喧伝されましたが、クーラーの普及はあまり進まず、どの家でも扇風機が回っていたように記憶しています。そして、子どもたち(私を含めて)は、ランニングシャツと短パンに麦わら帽子で日がな一日虫取りや川遊びとかして遊んでいたように思います。また、風鈴や、釣忍、怪談、朝顔、団扇、打ち水などなど、昔の人たちは涼を取る術をいろいろ持っていました。無論、クーラーを使うなどとは言っているわけではありません。しかし、地球温暖化は、人類がより便利で快適な暮らしを手に入れるために進めてきた各種テクノロジーの副産物であることは否めなと思います。ですから、デジタル化などますます高度化していく今こそ、昔を振り返って先人たちの知恵に学び、暮らしを工夫して、災害が起こりにくい国土、あるいは地球を目指すことが大切ではないでしょうか。